

分野：②生態系・生物多様性

(春の生き物調べとしいたけの駒打ち)

環境アドバイザー

足立 圭子

対象 ふじみ野こどもエコクラブ 40 人

所要時間



2 時間 30 分

場所 所沢市北岩岡

実施時期

令和 3 年 4 月 4 日

おおたかの森の再生地

概要

森の再生地は、かつては産廃施設の跡地を市民が購入して、森と草地と水辺の自然を再生している。自然が戻りつつある場所で、早春の生き物たちの息吹を感じながら、雑木林の手入れで得た樹木の有効利用の一環として、しいたけの駒打ち体験を行う。

プログラムの
ねらい

雑木林の保全活動で伐り出した樹木の有効利用の第一弾で、コナラの枝を 2 か月間乾燥させ、ドリルで穴を開け、しいたけの種駒を打ち込みホダ木として 2 か月間、湿気を保って静置しおよそ 1 年半、やっとしいたけが採れるようになる。長い年月を掛けて行われる生き物の力を借りた保全活動を体験してもらう。

プログラムの内容

1 挨拶と活動内容の説明 (20 分)

メンバー紹介と活動内容の説明

2 しいたけの駒打ち道具の説明 (10 分)

しいたけの種駒の扱い方と木槌とドリルの使い方

3 しいたけの駒打ちとしいたけ収穫

2 班に分かれる (45 分×2=90 分)

コロナ対策もあり密にならないよう 2 班に分かれ交互に行う。

① 駒打ちのドリルの穴あけと駒打ち

② しいたけホダ木置き場でしいたけ採り

4 後片付けと感想(30 分)



受講者の反応

駒打ちについて：初参加だったがとても楽しく活動ができた。早くしいたけが採れるといいと思いましたが、1 年半もかかると聞いてびっくりしました。ドリルがちょっと怖かったけれども優しく教えてもらったので、無事できてほっとしています。みんなの協力でたくさんの駒が打てて良かったです。早くしいたけが顔を出してほしいです。

しいたけ採り：大きなしいたけにびっくりしました。こんなに大きいしいたけはスーパーでは売っていません。しいたけが出なくなったらカブトムシが出てくると聞いてまたびっくりです。